

第7回（仮称）磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会

日時：令和4年10月21日（金）

10時00分から

会場：磐田市役所本庁舎4階大会議室

次 第

1 開会

2 委員長あいさつ

3 議事

（1）第1回ワークショップの振り返り

（2）第2回ワークショップに向けて

（3）地域づくり関係情報の提供について

4 閉会

※一部非公開の資料がございます

第7回(仮称)磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会

座席表 令和4年10月21日(金)10:00～ 大会議室

<p>委員長 (静岡大学学長) 日詰 一幸</p>		<p>副委員長 (自治会連合会会長) 村上 勇夫</p>		<p>司会</p>
<p>自治会連合会 副会長 星野 秀次郎</p>			<p>公募委員 飯田 佳一</p>	<p>事務局</p>
<p>竜洋住みよいまちづくり協議会 会長 藤田 允</p>			<p>公募委員 阿部 俊典</p>	<p>事務局</p>
<p>豊岡中央地域づくり協議会 会長 青野 博美</p>			<p>NPO法人いきいき・いわた 理事長 村田 建三</p>	
<p>NPO法人磐田まちづくりネットワーク 代表理事 三輪 邦子</p>			<p>地区社協等連絡協議会 会長 高田 一良</p>	
<p>長野交流センター センター長 両角 真利</p>		<p>社会福祉協議会 会長 長谷川 トキ</p>		

応募者内訳

年代 9月30日現在	人数	男性	女性	備考
10代	4	0	4	中学生、高校生、大学生
20代	3	2	1	
30代	6	4	2	
40代	11	6	5	
50代	9	5	4	50代、60代に市議含む 総務委員会応募 5名 (第1回5名、第2回4名、第3回4名) 一般応募議員 1名
60代	10	7	3	
70代	3	3	0	
80代	0	0	0	
合計	46	27	19	

	人数	男性	女性	備考
委員	10	7	3	委員長を除く

	人数	備考
見学	2	皇學館大學准教授 三重県玉城町職員

第1回のみ



主催：(仮称) 磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会

第1回 いわたまちづくりワークショップ

報告

1 ワークショップの概要

(仮称) 磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会が主催となって、第1回 いわたまちづくりワークショップを開催しました。

ワークショップには、中学生、高校生、大学生、子育て世代のパパママ、働きざかりの方々など、幅広い世代の皆さんに、主催者である条例策定検討委員が加わり、あわせて49名が参加。

第1回は、「まちづくり条例を知っていただくこと」、「条例の役割を身近に感じていただくこと」が目標でした。「磐田市はこんなところ、自分の住んでいるまちを見直そう！」をテーマに、自分だけの目線から他者の声を聞くことで新しい磐田市に気付いていただくこと、まちづくりに際し小さな関わりの大切さなどを感じていただくこと、多世代交流の必要性を感じていただくことができました。

開催日時：令和4年9月30日（金）19時～21時

開催会場：磐田市役所西庁舎3階会議室

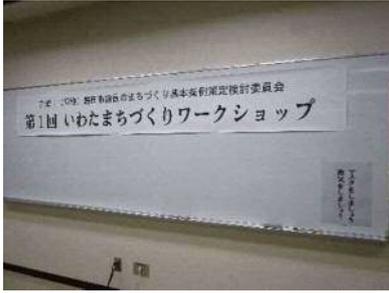
参加対象者：応募者46名（うち男性27名・女性19名）

委員10名（うち男性7名・女性3名）

2 ワークショップの流れ

- 参加者を10グループ（1グループ5名程度）に編成
- 進行は原口佐知子ファシリテーター（MUSUBI代表、ファシリテーター普及協会認定ファシリテーター、牧之原市市民ファシリテーター）
- 条例策定検討委員会の委員長からの情報提供
「磐田市協働のまちづくり条例って何だろう？」～条例策定の流れと市民の関わり～
- 自己紹介
- 話し合い「磐田市の良いところ」と「磐田市の変化が欲しいところ」
- 発表
- まとめ

3 ワークショップの様子





これ以下、各グループの模造紙

A

まちなのじまん

- しゃんがいはと30
- 歴史的な建物
- ひうたん池
- 見付宿
- 自然が豊か
- 水車の里
- 歴史的な建物がたくさんある。
- 公園が多い
- ゴミがキレイ
- 駅が2つある(近く)

まちなの整備

- 交通インフラの充実(バス)
- 駅前のにぎやか
- 公共施設の活用
- 通学路の整備
- サッカーが弱い
- 市民全員で地元スポーツクラブを応援

まちなの人から

- 親切な人が多い
- 犯罪が少ない
- 積極的なあいさつしてくれる。通学時

まちなの特産物

- 特産物がたくさんある
- 食べ物がおいしい

まちなの特ちょう

- 外国人の方が多い(多文化)
- 言葉の壁がない
- 意外と何とでも通じる(店員が英語)
- 子育て支援が充実している
- 子育て支援が充実している

まちなを有名に

- 発信力
- もっとPRしたい

まちなのつたがわり

- 役員を定めたやり方
- 市民全員で地元スポーツクラブを応援
- 世代を超えた交流の場づくり

まちなのじまん

- 市長が若い

まちなのスポーツ

- スポーツが盛ん
- スポーツが盛ん
- シニアの部がある
- サッカーが盛ん
- フットボールが盛ん

まちなの市民ご支援

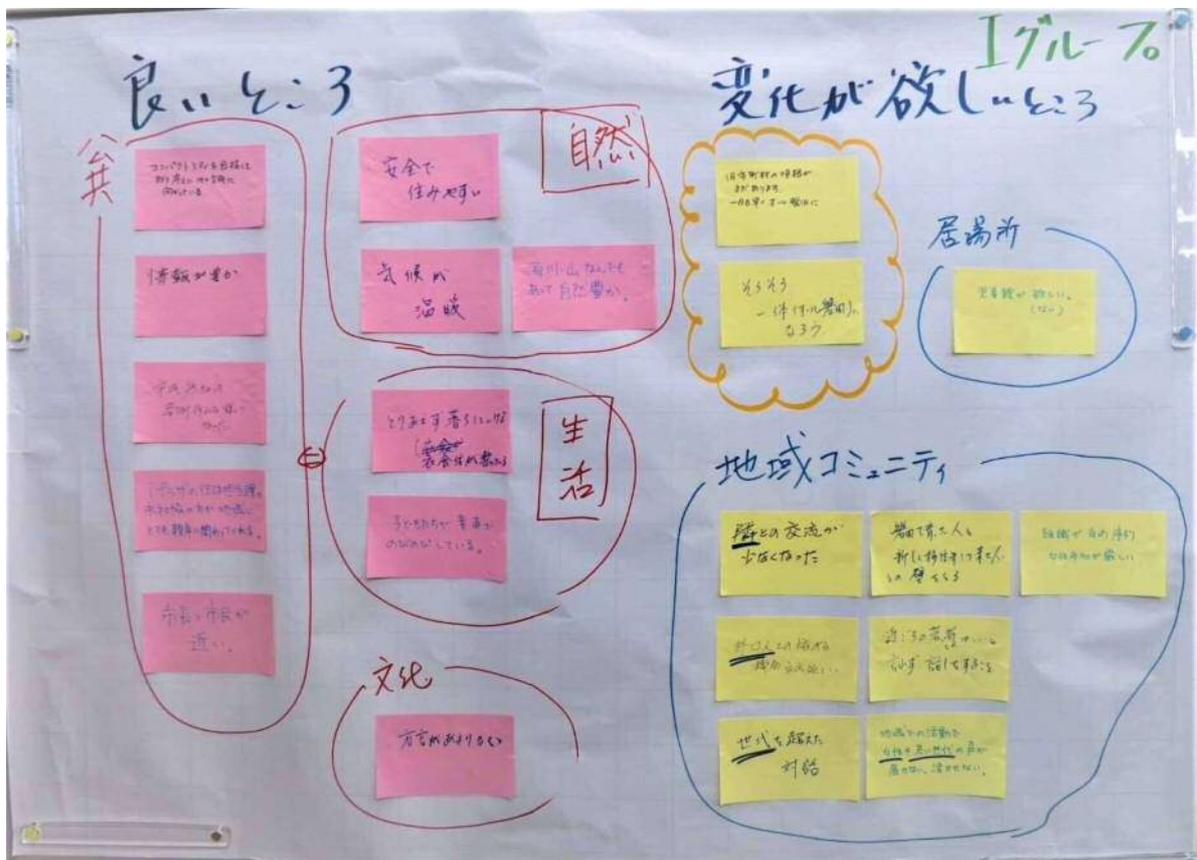
- 市民のシニア世代の応援

まちなのA

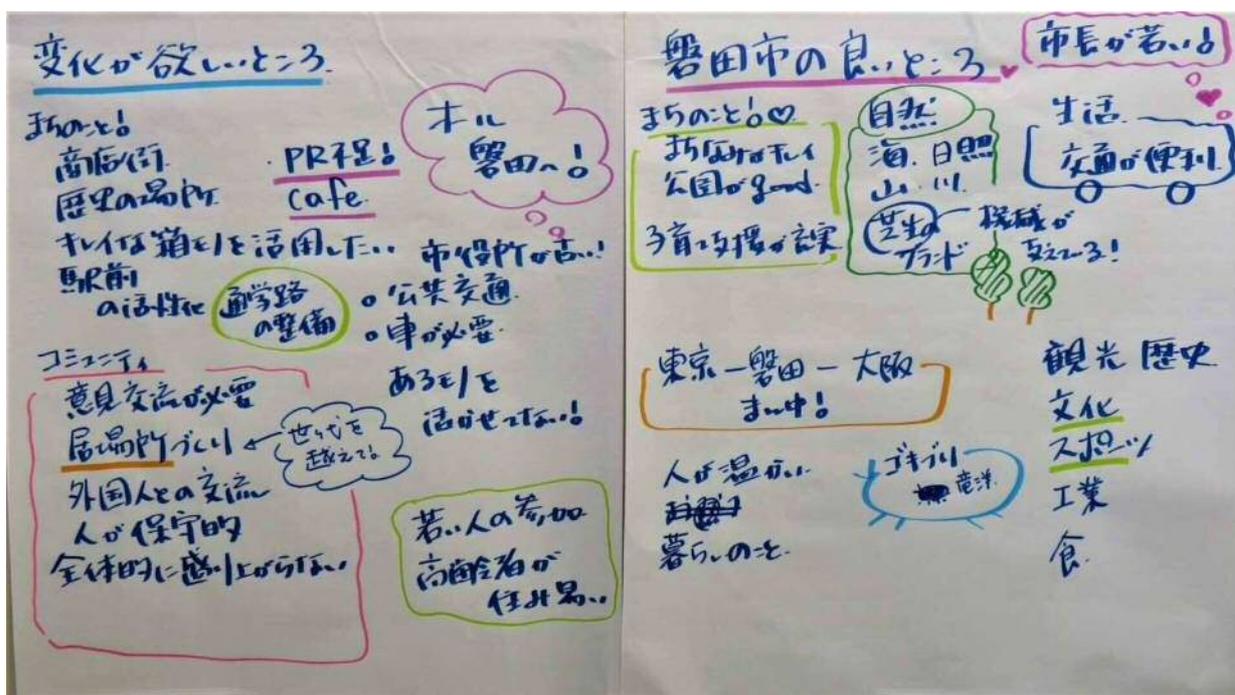
H



I







4 今後について

令和4年10月21日（金）10時から、第7回（仮称）磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会を開催し、第1回いわたまちづくりワークショップの振返りをを行います。

第2回いわたまちづくりワークショップの開催日時等は以下のとおりです。

開催日時：令和4年11月24日（木）19時～21時

開催会場：磐田市役所西庁舎3階会議室

開催概要：目 標；「やるべき「協働」を考える」、「「市民自治」を知る」

テーマ；「課題を解決するために市と市民が一緒にやれることをみつけよう！」

情報提供；「磐田市の現状とこれから」（条例策定検討委員より）

話し合い、発表、まとめ

事務局：磐田市地域デザイン推進室



第1回いわたまちづくりワークショップアンケート結果

アンケート「心に残ったワードを3つ以内」

回答 22/49

回答番号	申請方式	1つ目	2つ目	3つ目
22	用紙	自ら考え行動する	みんな仲間	できるできる
21	用紙	いいところ沢山	交流、人に変化が必要	
20	用紙	自然豊か	歴史文化のある街	地場産業を育成
19	用紙	自然	スポーツ	オール磐田
18	用紙	環境作り;線状降水帯対策見直し(新幹線ガード下水はけ)	教育;若者に心を育てる文化活動を(市民が自発的行動出来る機会を)	情報の共有(地域間のコミュニティ図れる機会作り)
17	オンライン	新しい磐田市に気付く	市民との対話によって成される条例改正	居場所づくりー顔の見える関係を作ること
16	オンライン	市民一人ひとりが主役のまちづくり		
15	オンライン	NPOのコラボが大事	新しい時代に合ったまちづくり	子育て環境を良くしたい
14	オンライン	まちづくり基本条約	駅前	おだやかな人柄
13	オンライン	スポーツ	やさしい人	通学路
12	オンライン	変えたい人がたくさんいる	古い考え方の人達との共存	自分が出来る事を少しずつやっていく
11	オンライン	スペシャルゲストしっぺい	居場所作り	磐田の人は話しを聞かない
10	オンライン	居場所	歴史と文化	スポーツ人口
9	オンライン	若い力	交通の便利と不便	人の特徴は温厚と保守的
8	オンライン	コミュニティ	若い人が出ていく	
7	オンライン	若者	連携	活性
6	オンライン	多様な価値観	表裏一体	若者の自由な発想
5	オンライン	豊かな自然	程よく田舎	公共交通
4	オンライン	協働	インクルーシブ	ダイバシティ
3	オンライン	D&I(多様性、インクルジョン)	両面性(良い面、悪い面)	市民の力
2	オンライン	保守的	変化を嫌う	穏やか
1	オンライン	若者、若い世代	居場所、集まれる場所	市職員が保守的

(仮称) 磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会 市民ワークショップ進行表

(目的)

- ① 協働のまちづくり基本条例を知ってもらう
- ② 磐田市の現状を知り、これからの磐田市を地域住民として考える必要性を感じる
- ③ 「市民自治」の必要性を知る・考える
 - ※「プロジェクト策定→実行」ではなく、ゆっくと市民が地域課題に対する意識を持つ気持ちを育む
 - ※(キーワード) 市民自治、市民参加、協働から総働、対話

第1回 9月30日(金) 19:00~21:00	第2回 11月24日(木) 19:00~21:00	第3回 1月26日(木) 19:00~21:00
(目標) ・協働のまちづくり基本条例を知る ・条例の役割を身近に感じてもらう	(目標) ・やるべき「協働」を考える ・「市民自治」を知る	(目標) ・今後の市民参加の意識を広げる ・今回の関わりこそが「市民自治」と感じる
WS テーマ 「磐田市ってこんなところ～自分の住んでいるまちを見直そう～」 ※自分だけの目線から他者の声を聴くことで新しい磐田市に気づくこと ※多世代交流の必要性を感じる →誰もがまちづくりの参加することを実感 (小さな関わり大切さ)	WS テーマ 「課題を解決するために行政・市民・一緒にやれることを見つけよう！」 ※事例を用いて、「一緒にやれること」「自分たちでやれること」を多方面から考えるクセづけ	WS テーマ 「協働から総働のまちづくりって何だろう? ～対話を重ねることの必要性～」 ※今回の多くの人の関わりを次に広げる ※少しの参加の必要性や楽しみを自分ごとへ
(情報提供) 日詰学長 「磐田市協働のまちづくり条例って何だろう?」 ※策定の流れと今後の計画	(情報提供) 磐田市 「磐田市の現状とこれから」 ※人口減少社会の今後を自分ごとにする 牧之原市の事例 「市民自治の必要性」 ※市民参加の必要性を実践から感じ取る	(情報提供) 三輪さん 「市民活動センターの役割」 ※磐田市民の活動を伝える

主催：（仮称）磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会

第2回

いわたまちづくりワークショップ



日時：令和4年11月24日（木）19時～21時

会場：磐田市役所西庁舎3階会議室

▶ 磐田市の現状とこれから



(仮称) 磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会

委員
委員

阿部 俊典
飯田 佳一

資料作成のイメージ

シート	タイトル	概要	備考
1	磐田市の概要	位置、面積、人口、歴史、産業	
2	人口減少	人口展望、経済が小さくなる、税収が減る	人口ビジョン
3	日本人人口推移	参考	市統計
4	外国人人口推移	参考	市統計
5	人口比較	ピーク時（H20.9末）と現在（R3.9末）	市統計
6	高齢人口比率推移	65歳以上と75歳以上	人口ビジョン
7	高齢者の状況	2015年と2030年	社人研
8	少子高齢化	85歳以上を15-64歳が支える割合	
9	家族構成	核家族世帯、単独世帯	R2国勢調査
10	共働き世帯の増加	専業主婦世帯と共働き世帯	総務省統計局
11	公共施設の老朽化	公共施設は築30年以上が56%	公共施設計画
12	現状のまとめ	行政の金欠・家族の支え不足・地域の担い手不足	



地域づくり関係情報の提供について

地域デザイン推進室

令和4年10月

■ 小規模多機能自治

「小規模」＝概ね小学校区域で、小規模ながらも

「多機能」＝分野を横断し、様々な機能をもった

「自治」＝住民参画、協働、住民自治の仕組み

■ 小規模多機能自治関係講演会・研修会・勉強会等

① 小規模多機能自治シンポジウム ※チラシ参照

日時：令和4年11月20日（日）13時～17時

会場：市民文化会館かたりあ

対象：市民、条例策定検討委員会委員、自治会連合会、地域づくり協議会、
社会福祉協議会、市民活動センター、商工会議所、商工会、青年会議所等、
小規模多機能自治推進ネットワーク会議会員、静岡県自治会連合会など

内容：第1部 基調講演

第2部 地域づくり実践事例報告（中学生以上全住民アンケート取組）

第3部 パネルディスカッション

② オンライン勉強会（晩秋・初冬の陣）

11、12月に全6回開催予定。

③ 地域活動支援者研修会

8、9月に交流センター職員と地区担当保健師向け研修会を開催。

1月に交流センター職員、地区担当保健師、生活支援コーディネーターによる
合同研修会を開催予定。

■ 地域活動情報交換会

開催回	開催日時	テーマ（案）
第3回	令和4年12月21日（水）	防犯・交通
第4回	令和5年2月24日（金）	防災

※第3回と第4回においても、市民活動センター主催 ファシリテーター養成講座の
受講生の実践の場とする予定。

■ 中学生以上全住民アンケート

実施地域（4地域）

長野地域づくり協議会	回収率	97.2%	報告会	1月15日
豊岡東地域づくり協議会	回収率	96.2%	報告会	12月17日
豊浜地域づくり協議会	回収率	92.4%	報告会	未定
豊田東地区まちづくり協議会	回収率	86.6%	報告会	1月22日

なお、次年度に向けての講演会は、9月17日（土）に竜洋なぎの木会館大ホールにおいて開催済み。約100名が参加。

施設紹介

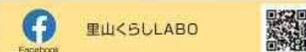
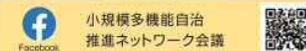
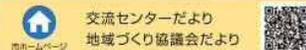
磐田市民文化会館「かたりあ」

磐田市民文化会館「かたりあ」は、文化を継承し、創造し、発展する新しい拠点として2022年7月に開館しました。人々が集い、語り合い、「市民の活動」が大屋根の下でつながるような空間となっています。



地域デザイン推進室の業務

- ▶ (仮称)協働のまちづくり基本条例の制定
- ▶ 小規模多機能自治の実現に向けた取組みの推進
- ▶ 自治会連合会や福祉団体との連携等の検討
- ▶ 地域づくり協議会に関する支援
- ▶ 市民活動センターの運営と今後の方向性検討
- ▶ 地域づくり応援課の体制検討



地域デザイン推進室

〒438-8650 静岡県磐田市国府台3-1 本庁舎2階 ☎0538-37-4811 FAX 0538-32-2353
E-mail:chiki-ohen@city.iwata.lg.jp

「小規模多機能自治」シンポジウム

磐田市が目指す これからの地域の ありかたとは

第1部 ◀ 基調講演 (90分)

第2部 ◀ 地域づくり実践事例報告 (中学生以上全住民アンケート)

第3部 ◀ パネルディスカッション

令和4年

11月20日 日 13:00~17:00

磐田市民文化会館「かたりあ」



主催 磐田市

小規模多機能自治とは

自治会、町内会、区などの基礎的コミュニティの範囲より広範囲の概ね小学校区などの範囲において、その区域内に住み、又は活動する個人、地縁型・属性型・目的型などのあらゆる団体等により構成された**地域共同体**が、地域実情及び地域課題に応じて住民の福祉を増進するための取組を行うことです。

地域共同体…地域の住民・あらゆる団体が集結



講師の紹介

川北 秀人 氏 (IIHOE 人と組織と地球のための国際研究所)



磐田市にはこれまでも、自治会連合会様主催の研修などでお話し、人口・世帯構成の推移などをもとに、「これまで」と「これから」の違いを確認したうえで、地域づくりに求められる進化についてお話しさせていただいてまいりました。今回のシンポジウムでは、地域の持続可能性を高めるために必要な方策について、市内のお取り組みもご紹介いただきながら、多くの市民のみならず、意見交換できればと考えております。

1964年大阪生まれ。87年に京都大学卒業後、(株)リクルートに入社。広報や国際採用などを担当して91年退社。その後、国際青年交流NGOの日本代表や国会議員の政策担当秘書などを務め、94年にIIHOE設立。市民団体のマネジメントや、企業の社会責任(CSR)への取り組みを支援するとともに、NPO・市民団体と行政との協働の基盤づくりを進めている。

- ・IIHOE【人と組織と地球のための国際研究所】代表者兼ソシオ・マネジメント編集発行人、(特)JEN共同代表理事(2004年から2010年、2018年より再任)
- ・(一社)ソーシャルビジネス・ネットワーク 理事(2011年より)
- ・(公財)日本自然保護協会 評議員(2002年より)
- ・(特)自然体験活動推進協議会 監事(2005年より)
- ・(一財)日本民間公益活動連携機構 評議員(2018年より)
- ・大阪大学大学院 国際公共経営研究科 客員助教授(NPOマネジメント)(2003-2004年度)
- (特)東京シューレ 理事(2021年より)



磐田市地域づくり
講演歴

令和2年12月 自治会連合会・市共催「地域づくり協議会役員等」
令和3年 7月 市主催「商工会議所青年部会や青年会議所など若い世代等」
令和3年12月 自治会連合会・市共催「自治会長等」

報告者の紹介

里山くらしLABO・地域づくり協議会



2015年設立。静岡県静岡市の中山間地域の子育て支援や移住促進支援をきっかけに、人口減少と高齢化に対応するコミュニティづくりのサポートをはじめ。当事者でも行政でもない、第三者の視点による伴走支援を主とし、地域課題の数値化・可視化、地域活動の目的の再確認や、組織や役割、行事の見直しなど、自治会を主とする地域活動の当事者が、時代の変化に対応できるしなやかな地域運営組織づくりを応援する。2018年から、静岡市主催の地域を担う人材の養成塾「地域デザインカレッジ」の専任講師や地域活動の好事例発表会の企画運営を務め、2020年には静岡市内の1000を超える自治会長を対象にアンケートを実施し、課題を明示したりすることで、自治会や地域づくりを担う住民をサポートしている。

46地方紙と共同通信社が主催する「第8回地域再生大賞」において特別賞を受賞。静岡市、袋井市などで自治会を基盤とする「全住民アンケート調査」を実施。その他、青森、岩手、新潟、岡山、山口、佐賀など県外でも広く講演活動を行う。

パネリストの紹介

講師・コーディネーター

川北 秀人 氏 (基調講演講師、IIHOE代表)

パネリスト



日詰 一幸氏

静岡大学学長
(仮称)磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会委員長
2000年より静岡大学人文学部教授(2012年学部名称変更により静岡大学人文社会科学部教授)。2021年4月より静岡大学学長に就任。専門は、行政学、地方自治論、NPO論など。



鈴木 まり子氏

特定非営利活動法人日本ファシリテーション協会フェロー
磐田市男女共同参画推進委員会会長
ひとりひとり「尊重され、存在できる」参加型のまちづくりを目指して会議やワークショップなど話し合いを進行。また、その手法と考え方を「ファシリテーション」を伝える研修を企画・全国で実施している。



土肥 潤也氏

NPO法人わかものまちな事務所局長、いわた高校生まちづくり研究所講師
1995年、静岡県焼津市生まれ。早稲田大学社会科学部研究科修士課程修了、修士(社会科学)。2015年に、NPO法人わかものまちなを設立。2020年に、一般社団法人トリスを共同創業、現在は代表理事。



唐木 啓介氏

群馬県健康福祉部副部長
磐田市出身。2001年4月に厚生労働省に入省。介護予防サービスの創設、社会保険一体改革、高齢者医療保険制度の施行、医療提供体制改革、コロナ下の生活困窮者支援、地域共生社会の推進などを担当。2022年7月から群馬県に健康福祉部副部長として出向中。



板持 周治氏

雲南市役所政策企画部次長兼 地域振興課長
2004年雲南市政策企画部政策推進課に配属。2012年に現部署に異動し、主に小規模多機能自治を担当。2015年に全国の横断的組織として設立した小規模多機能自治推進ネットワーク会議に事務局として従わり、現在10年目。



草地 博昭

磐田市長
NPO法人磐田市体育協会にて事務局長を務め、平成25年に磐田市議会議員に初当選。以来、市議会議員を2期務め、その間、議会運営委員長、予算決算委員長、民生教育委員長を歴任。

令和4年度 条例改正・小規模多機能自治推進 カレンダー

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
						1
2 5月	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13 第1回小規模多機能自治PJ	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5
6 6月	7	8	9	10 ファシリテーター打合せ	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28 第8回庁内検討会	29 ファシリテーター打合せ	30	1	2	3
4 7月	5	6	7 委員長打合せ	8	9	10
11	12	13 第6回策定検討委員会	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
1 8月	2	3	4 市長定例記者会見	5	6	7
8 WS参加者募集開始	9	10	11	12 (仮)第2回小規模多機能自治PJ	13	14
15	16	17 第1回地域活動情報交換会	18	19	20 交流センター等職員研修	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4
5 9月	6	7	8 委員長・ファシリテーター打合せ	9 WS参加者募集期限	10	11
12 ※WS参加者選考	13	14	15	16	17 交流センター等職員研修+里ラボ講演会	18
19 敬老の日	20	21	22	23 秋分の日	24	25
26	27	28	29	30 第1回ワークショップ	1	2
3 10月	4	5	6	7 ※第7回策定検討委員会開催通知	8	9
10 スポーツの日	11	12	13	14	15	16
17	18	19 第2回地域活動情報交換会	20	21 第7回策定検討委員会	22	23
24 ※ファシリテーター打合せ ※阿部委員・飯田委員打合せ開始	25	26	27	28	29	30

令和4年度 条例改正・小規模多機能自治推進 カレンダー

31	1	2	3	4	5	6	
7	11月	8 ※委員宛て（第2回WS開催案内） ※参加者宛て（第2回WS開催通	9	10	11 （仮）第3回小規模多機能自治PJ	12	13
14	15	16	17	18	19	20 小規模多機能自治シンポジウム	
21	22 代表質問通告	23 勤労感謝の日	24 第2回ワークショップ	25	26	27	
28	29	30 質疑通告	1	2 代表質問	3	4	
5	12月	6 一般質問	7 質疑	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21 第3回地域活動情報交換会	22 （仮）第8回策定検討委員会	23	24	25	
26	27	28	29	30	31	1	
2	1月	3	4	5	6	7	8
9	成人の日	10 ※ファシリテーター打合せ	11	12	13 ※委員宛て（第3回WS開催案内）	14	15
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26 第3回ワークショップ	27	28	29	
30	31	1	2	3	4	5	
6	2月	7	8 ※第9回庁内検討会資料（策定検討委員会資料案）準	9	10 （仮）第4回小規模多機能自治PJ	11 建国記念の日	12
13	14 一般質問通告	15	16	17	18	19	
20	21 質疑通告	22	23 天皇誕生日	24 第4回地域活動情報交換会	25	26	
27	28 一般質問	1 質疑	2 質疑	3 委員会	4	5	
6	3月	7 （仮）第9回庁内検討会	8 ※第9回策定検討委員会開催通知	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19	
20	21 春分の日	22 （仮）第9回策定検討委員会	23	24	25	26	
27	28	29	30	31			